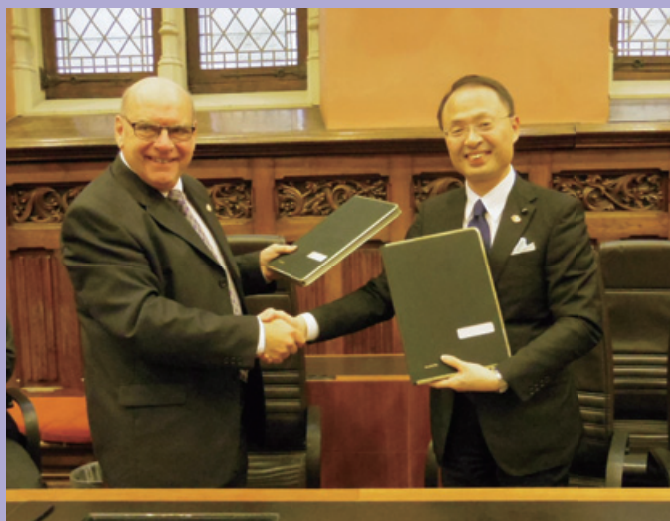


金沢国際親善ニュース



金沢市代表团ゲント市派遣 姉妹都市提携45周年記念合意書調印



金沢市代表团蘇州市派遣 姉妹都市提携35周年記念合意書調印



金沢市代表团大連市派遣 友好交流都市提携10周年記念合意書調印

金沢市姉妹都市交流委員会

姉妹都市・友好交

提携45周年記念 ゲント・フローラリア庭園出展及び参加 金沢市派遣団

4月21日から5月1日、ゲント市において開催された花と植物の世界的祭典「ゲント・フローラリア2016」に姉妹都市提携45周年記念事業の一環として本市から庭園を出展し、あわせてフローラリア開会式に参加するため、丸口邦雄副市長を団長とする市代表団及び（一社）石川県造園緑化建設協会の会員等から成る庭園設置団を派遣しました。また今年には日本・ベルギー友好150周年にもあたり、日本が名誉招待国になっていることから、両国の祝賀気運に華を添えるとともに、庭園出展を通じて、金沢市の存在を世界に向けて発信しました。本市からの庭園出展は、2000年以來16年ぶり2度目です。



設置作業中の「濫觴の庭」



完成した「濫觴の庭」



ベルギー国王夫妻に説明する丸口副市長



テルモント市長への「濫觴の庭」目録寄贈

●出展庭園「濫觴の庭」

金沢市を象徴する兼六園の風物詩である雪吊りや、金沢21世紀美術館に見立てた手水鉢を配置し、姉妹都市であるゲント市と金沢市、そしてベルギーと日本の友好関係が「泉」のように湧き出し、今後ますます広がる様子を表現しています。

●市代表団（4月19日～22日）

4月20日、金沢大学と協定を締結しているゲント大学を訪れ、日本語学科の学生を対象に、パワーポイントを使って丸口副市長が金沢市の魅力を紹介しました。また夜間には、都市照明の国際コンペティションにおいて第1位を受賞するなど夜のライトアップの芸術性が高く評価されている夜間景観を見学しました。4月21日、フローラリア開会式が行われました。当日、開会式にはベルギー王国のフィリップ国王陛下がご出席され、丸口副市長が、金沢市の出展庭園「濫觴の庭」について国王陛下に説明しました。その後、金沢美術工芸大学と協定を締結しているゲント王立美術アカデミーを訪れ、ゲント市立博物館で開催されたゲント市寄贈展「着物から日本刀まで」開場式に出席し、ゲント市のテルモント市長や在ベルギー日本国大使館の石井大使をはじめとする多くの出席者とともに姉妹都市提携45周年を祝いました。式典の中で、丸口副市長は「濫觴の庭」の目録を寄贈しました。4月22日、ゲント市庁舎において、ゲント市関係者を交え今後の交流に関する意見交換を行いました。

提携45周年記念ゲント市訪問 金沢市代表団

10月15日から欧州を訪問している山野市長は、20日にゲント市を訪問しました。ゲント市では、4月に開催されたゲント・フローラリアのため本市が出展した、「濫觴の庭」の移設完成式に参加しました。また姉妹都市提携45周年を記念して、山野市長は、ゲント市のテルモント市長との間で、これまでの交流を継続するとともに、今後、さらに交流を促進することについて確認する旨の合意書に調印しました。

●出展庭園「濫觴の庭」の移設について

フローラリア終了後、庭園は一旦解体されましたが、その後、庭園の移設先としてゲント大学が選ばれ、山野市長のゲ



移設された「濫觴の庭」での記念撮影



両市長による移動中の意見交換の様子

ント市訪問に合わせて、「濫觴の庭」の移設完成式がゲント大学で行われました。



合意書に署名する両市長

Topics

ゲント市へ寄贈された日本庭園「濫觴の庭」がゲント大学に設置されたことを機に、ゲント大学の学生を中心に、11月16日に、金沢の魅力PRするイベントが開催され、学生を中心とした来場者たちは金箔貼り体験や和菓子の試食などを楽しみました。イベント開催中は、「濫觴の庭」のライトアップも同時に開催されました。

●主な日程

- 10月20日（木）朝 ブリュッセル空港着、ゲント市へ
- 11:00 ゲント大学訪問（「濫觴の庭」移設完成式、文学部日本語学科訪問）
- 14:30 提携45周年記念合意書調印式（於：ゲント市庁舎）
- 夕方 ゲント市発、ブリュッセル空港から帰国の途へ

流都市提携周年記念

蘇州市提携35周年・大連市提携10周年記念 金沢市代表団の派遣

2016年6月26日から7月1日、山野市長、前田昌彦・金沢美術工芸大学学長を始めとする金沢市代表団一行が、蘇州市と大連市を訪問して、それぞれで周年記念事業を行いました。

1. 蘇州市プログラム (6月27日・28日)

6月27日、一行は金沢青年会議所と同所が提携を結ぶ蘇州市青年連合会が主催する「金沢・蘇州経済懇談会」に出席した後、提携35周年の記念式典に臨みました。記念式典では、福田太郎・議長を団長とする金沢市議会議員代表団、鈴木規秀・2016年度理事長を始めとする金沢青年会議所代表団、西野正次・会長代行を始めとする金沢市日中友好協会代表団と共に、曲福田・蘇州市長を表敬訪問した後、蘇州市が2014年12月に本市と同じ「クラフト&フォークアート」分野でユネスコ創造都市ネットワークに加盟したことを受けた『金沢市と蘇州市との姉妹都市の絆を生かしたユネスコ創造都市交流の推進に関する合意書』に調印して、両創造都市間におけるクラフト分野での交流推進を約束しました。

翌28日には、蘇州博物館での「金沢市伝統工芸展」の開会式に出席して、金沢卯辰山工芸工場の所蔵作品を中心に本市が誇る伝統工芸品の数々を蘇州市民に紹介したほか、会場では、加賀水引職人の津田宏氏、加賀友禅作家の濱田泰史氏、金工（加賀象嵌）作家の坂井直樹氏による実演も行われ、来場者の目を楽せました。この後、一行は、蘇州大学を訪問して、前田学長による講演会を実施して金沢美大を紹介した後、蘇州市出身の元金沢市国際交流員等からなる「金沢-蘇州交流サポーターズクラブ」の設立総会（P.6参照）に臨み、会員を新たに「金沢市国際交流特使」に任命して、金沢のより一層のPRを約束してもらいました。



曲市長を表敬訪問する山野市長



「金沢市伝統工芸展」開会式でのテープカット

2. 大連市プログラム (6月29日・30日)

6月29日、一行は大連市に移動して、両市の友好交流推進に尽力いただいている大連市人民対外友好協会との懇談の後、大連市教育局や、大連教育学院を訪問した後、提携10周年の記念式典に臨みました。国内外からの賓客の接待専用の樺極島ホテルで開かれた記念式典では、肖盛峰・大連市長と『金沢市と大連市との友好交流都市提携10周年を記念した友好交流の更なる発展に関する合意書』に調印したほか、両市

の担当局長が署名した『金沢市と大連市とのスポーツ交流の推進に関する合意書』を交換して、両市で開催されるマラソン等の競技大会やスポーツ行事に選手団を相互派遣することなどを約束しました。

翌30日、金沢市長は、両市の交流の原点となった大連大学を訪問して、これまでの交流促進に尽力いただいたお礼を述べた後、大連工業大学を訪問して『伝統と創造のまち・金沢～新幹線開業効果と誘客促進に向けて～』と題する講演会を実施して金沢を広く紹介しました。また、これに先立ち、山野市長に大連工業大学名誉教授の称号が授与されました。



肖市長と会見する山野市長



調印後の記念撮影



大連工業大学で記念講演する山野市長

●金沢市代表団一行の主な日程

- 6/26 小松空港より上海浦東空港着、蘇州市入り。
- 6/27 「金沢・蘇州経済懇談会」出席、提携35周年記念式典（蘇州市長表敬会見、創造都市交流合意書調印式）、市内交流団体（蘇州市田家炳実験初級中学校、蘇州日報社、蘇州電台）訪問等
- 6/28 「金沢市伝統工芸展」開会式・会場視察、蘇州市公共文化センター・蘇州図書館訪問、蘇州大学表敬訪問、蘇州大学芸術学院訪問・金沢美大学長講演会、「金沢-蘇州交流サポーターズクラブ」設立総会等。
- 6/29 蘇州市発、上海浦東空港より大連空港着、大連市入り。大連市教育局・大連教育学院訪問、提携10周年記念式典（大連市長表敬会見、友好交流発展合意書調印式、スポーツ交流合意書交換）等。
- 6/30 大連大学訪問（金沢市長一行）／魯迅美術学院大連校訪問（金沢美大学長一行）、大連工業大学訪問（学長表敬訪問・名誉教授称号授与・金沢市長講演会・市内視察）、市内交流団体（大連電台）訪問等。
- 7/1 大連市発、大連空港よりソウル仁川空港着、全州市入り。全北大学訪問、全羅北道知事（前全州市長）表敬訪問、全州市長表敬訪問等（P16参照）。
- 7/2 ソウル金浦空港より羽田空港経由、小松空港着。

かなざわ しまいとし ゆうこうこうりゅうとし だいひょうだん さんか 金沢マラソン2016に姉妹都市・友好交流都市から5代表団が参加！

2016年10月23日、「金沢をまるごと『走る!』」をキャッチフレーズに、金沢の魅力が満喫できる7つのゾーンを走る「金沢マラソン2016」に参加するため、10月21日から24日の期間、本市の4姉妹都市・1友好交流都市からの代表団21名（うちランナー8名）が、来沢し大会に華を添えました。

マラソン当日、姉妹都市・友好交流都市からの出走者は、13,000人（うち国外約700人）を超えるランナーとともに、山野之義・金沢市長の号砲を合図に8:50に一斉にスタート。途切れることのない沿道の熱い声援に力も得て、全員が無事完走しました。

金沢マラソンの参加を契機とする本市の姉妹都市・友好交流都市間の新たな交流が芽生えてきており、2017年10月29日（日）に決定している金沢マラソン

2017にも、多くの姉妹都市等からのランナーの皆さんが参加することが期待されています。

なお、本年度の各市からの訪問団の概要と、主な滞在日程は、以下のとおりです。

【訪問団】

都市名	団長	所属等	人数 (ランナー)
ポルト・アレグレ	和田 好司	「金沢友の会」監事 南伯日本商工会議所 専務理事	4名
ゲント	パウル・ヘンリー・スヘーレン	市民ランナー代表	1名 (1名)
蘇州	徐 蘇	蘇州市体育競技管理 センター 総合部 部長	7名 (2名)
全州	李 大根	全羅北道 陸上連盟	5名 (4名)
大連	李 述喆	大連市外事弁公室 国際交流処 調研員	4名 (2名)
合計：5都市			21名 (9名)

【主な滞在日程】

日付	内容
10/21 (金)	表敬訪問／歓迎会
10/22 (土)	コース下見／市内視察（兼六園・ひがし茶屋街等） 金沢マラソン前夜祭
10/23 (日)	金沢マラソン2016参加 送別会
10/24 (月)～	各市代表団離沢



表敬訪問後の記念撮影

フランスのホストタウンとして登録される！

「2020年東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会」が開催されることにもない、多くの選手・観客等が来日することを契機に、地域の活性化等を推進するため、事前キャンプの誘致等を通じ大会参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る取り組みをおこなう地方公共団体は「ホストタウン」として、政府に登録されます。

金沢市は、姉妹都市フランス・ナンシー市との40年以上にわたる交流実績、2017年4月の金沢プールの供用開始を見据えたフランス水泳連盟へ働きかけをはじめ、ウエイトリフティング協会、体操協会などに対する事前キャンプにかかる誘致活動等が評価され、2016年6月14日にフランスのホストタウンとして第二次登録されました。

登録後は、フランスのホストタウンとして、文化やスポーツ等を通じた交流の促進の検討を行うとともに

に、2017年1月にはフランス水泳連盟の国内技術担当のジャック・ファヴル氏と競泳副担当のジャン・リオネル・レイ氏を招き、金沢市長や関係者と懇談、金沢プールの視察を行ってもらうなど、事前キャンプ誘致の実現をめざした活動を展開しています。



プールを視察する仏水連一行

グローバル人材育成・青年海外派遣プロジェクト

金沢市では、金沢の青年をグローバル人材として育成するため、国際交流に意欲のある若者を海外に派遣する機会を創出する「グローバル人材育成・青年海外派遣プロジェクト」を今年度も実施しました。

派遣される金沢の青年には、現地の青年との交流や様々な文化に対する理解を深めてもらうとともに、帰国後は海外からの青年受入プロジェクトなど各種国際交流活動に参画してもらうことで、グローバル人材の育成をめざしており、今年度は、姉妹都市中国・蘇州市との間で以下のとおり実施しました。

【派遣事業】

公募により選抜された大学生5名を、12月25日～12月29日まで派遣しました。

事業趣旨に基づき、蘇州市が策定したプログラムには、若者同士の交流を行うため、蘇州大学、蘇州農業職業技術学院、蘇州科技大学の各大学に加え、語学教育に注力している蘇州市第3中学校への訪問が組まれていました。

金沢の学生は、蘇州市で交流するために、予め準備していたプレゼンテーションにより金沢の歴史、文化、名所旧跡などの紹介したほか、自身の特技の披露、持参した金箔の体験セットなどを用い、金沢の特徴・魅力を生かした交流を行いました。

また、蘇州市では、2016年6月に金沢市の元国際交流員等10名の金沢市国際交流特使が「蘇州—金沢交流サポーターズクラブ」を設置しており、滞在中、両市の若者同士の交流を支援したほか、金沢市の学生との懇談会も行っています。

そのほか、蘇州市の世界遺産「拙政園」、蘇州美術館などの見学、市内の新しい開発地区を視察するなど、様々な体験を通じて、文化に対する理解を深めました。

日程	主な内容
12/25	蘇州市へ（小松空港から）
12/26	蘇州大学訪問 市内視察
12/27	蘇州農業職業技術学院訪問 市内視察 蘇州市外事弁公室歓迎会
12/28	蘇州科技大学 蘇州第3中学校 交流サポーターズクラブ懇談会
12/29	帰国（小松空港へ）



蘇州科技大での交流



金箔紹介（第3中学校）



サポーターズクラブ会員と

金沢市派遣学生5名	
和田千秋（女）	金沢大学 国際学類4年
飯田陽奈（女）	金沢大学 国際学類3年
米沢諒哉（男）	金沢大学 法学類2年
松野美月（女）	金沢大学 国際学類1年
村中有沙（女）	県立看護大学 看護学部2年

【受入事業】

蘇州市から日本語を学習する大学生4名を、2017年2月20日～2月24日の日程で受け入れました。青年受入プロジェクトとして、日程は、12月に蘇州市に派遣された金沢市の青年5名が作成し、期間中は、彼らが分担しながらアテンドしました。

受入期間中は、大学が春期休暇中ではあったことから、金沢市の青年5名は、運営には工夫をこらし、到着後最初のプログラムとして、金沢の紹介、日程の趣旨を詳細に説明するプレゼンテーションを行うことで、事業の円滑化を図りました。

教育機関への訪問としては、金沢大学のキャンパスを自身が案内したほか、高尾台中学校での施設見学・給食体験なども盛り込みました。文化体験としては、着付け、金箔、抹茶などのほか、前年11月に開館した金澤町家情報館での香道体験も設定しました。

若者の交流として、学生のまち市民交流館で活動する大学生との交流の機会を設けるとともに、兼六園や金沢城などの案内、鈴木大拙館、金沢21世紀美術館などの見学も行いました。こうした活動をとおして、蘇州市の学生に金沢の魅力を伝えるとともに、自身の経験の蓄積にもつなげました。

日程	主な内容
2/20	来日（小松空港へ） 金沢市・日程のプレゼン
2/21	鈴木大拙館、21世紀美術館 ひがし茶屋街 （着付・金箔・抹茶）
2/22	高尾台中学校 金沢大学 学生のまち市民交流館
2/23	表敬訪問 金澤町家情報館（香道体験）
2/24	帰国（小松空港から）



金沢大学を訪問



学生のまち市民交流館で交流



金沢市長及び金沢市の学生と

蘇州市派遣学生4名	
丁力（男）	蘇州科技大学 日本語学部2年
殷隲馨（女）	蘇州大学 日本語学部2年
張元（女）	蘇州市職業大学 観光日本語学部2年
楊欣悦（女）	蘇州農業職業技術学院ビジネス日本語学部2年

こくさいこうりゅうとくし しょうせいじゅく (留学生イベント) の開催

金沢の魅力(かなざわ みりょく)を海外(かいがい)に向けてPR(む)する「金沢市国際交流(かなざわし こくさいこうりゅう)特使(とくし)」を養成(ようせい)するため、留学生等(りゅうがくせいなど)を対象(たいしょう)に、金沢の文化(かなざわのぶんか)等を講義(こうぎ)や体験(たいけん)を通じて学(まな)ぶ「国際交流特使養成塾(こくさいこうりゅうとくし しょうせいじゅく)」を通年(つうねん)で開催(かいさい)しています。2016年度(どこう)は計(けい)8回(かい)開催(かいさい)しました。

1. 金沢市国際交流特使の概要

国際交流特使(こくさいこうりゅうとくし)は、帰国後(かこくご)もSNS(えん)や現地(げんち)でのイベント(イベント)等で、海外(かいがい)への金沢(かなざわ)の魅力(みりょく)発信(はっしん)を担(たん)ってもらうことを目的(もくてき)とした制度(せいど)です。国際交流特使養成塾(こくさいこうりゅうとくし しょうせいじゅく)を修了(しゅうりょう)した留学生(りゅうがくせい)は、特使(とくし)として金沢市長(かなざわしちょう)より任命(にんめい)され、帰国後(かこくご)も金沢(かなざわ)を海外(かいがい)に向けてPR(む)する役割(やくわり)が期待(きたい)されます。

特使養成塾受講留学生の国籍別内訳(平成29年1月1日現在)

	計
中国(台湾含む)	25
韓国	2
ベトナム	3
インドネシア	2
マレーシア	2
フィリピン	1
カンボジア	3
ブラジル	1
計	39

2. 講座内容

- 第1回 5月29日
「金沢の工芸まるごと体験ツアー」
- 第2回 7月3日
「ガイドといく長町散策&金沢の工芸手作り体験」
- 第3回 8月6日
「金沢の港町を巡る!歴史・産業ツアー」
- 第4回 11月6日
「湯涌江戸村&茅葺きツアー」
- 第5回 12月10日
「金沢の食文化体験ツアー
～和菓子づくりと酒蔵見学～」
- 第6回 1月9日
「金沢の伝統芸能を知る!能楽ツアー」
- 第7回 1月28日
「金沢里山体感ウィンターツアー」
- 第8回 2月23日
「はじめての香道」

第1回養成塾
加賀友禅着用体験の様子



第2回養成塾
長町でガイドの説明を
聞いている様子



第4回養成塾
金沢の昔の暮らしについて
住民の方から話を聞いている
様子



第5回養成塾
和菓子づくり体験の様子



第7回養成塾
かんじきハイキングで雪山を
散策している様子



2016年8月31日、特使養成塾を受講した留学生のうち9月に留学を終え帰国する2名(中国2名)を国際交流特使として任命しました。同様に、2017年2月10日、養成塾受講留学生のうち2月に留学を終え帰国する3名(中国2名、韓国1名)を特使として任命しました。

〔その他留学生イベント〕 市民防災訓練に留学生が参加

2016年6月26日に第20回新神田校下市民防災訓練が、新神田小学校ピロティ及び体育館等を会場として行われました。

今回は、北陸大学と連携し、留学生計21名(インドネシア2名、オーストラリア1名、韓国1名、スリランカ1名、タイ2名、中国11名、ベトナム2名、ロシア1名)が訓練に参加しました。

留学生は、各種訓練に参加したほか、「避難所多言語対応冊子」や、消防局が2016年に利用を開始した「多言語対応金沢救急アプリ」を使用して、医者や救急隊員とのロールプレイングを行いました。



国際交流特使による金沢PR活動

(1) 「金沢-蘇州交流サポーターズクラブ」設立！

2016年6月28日、金沢市と蘇州市との交流の懸け橋となることをめざす「金沢-蘇州交流サポーターズクラブ」が発足しました。設立メンバーは、蘇州市出身の元国際交流員及び協力交流研修員10名で、代表は、樊文琮さんが就任。設立総会には、山野市長が出席しました。

なお、国際交流特使を中心として姉妹都市で活動する交流グループとしては、姉妹都市ポルト・アレグレ市の「金沢友の会」に続き、2例目です。



設立総会での記念撮影

【設立会員】(代表:樊文琮) 10名

※記載年は国際交流員(協力交流研修員)としての任期

氏名	性別	国際交流員(協力交流研修員)としての任期	所属
唐元生	男	1996年(H8年)	蘇州市外事弁公室
朱聖才	男	2000年(H12年)	蘇州市外事弁公室
洪軍	男	2002年(H14年)	蘇州市外事弁公室
趙銀平	女	2009年(H21年)	蘇州科技大學
樊文琮	女	2010年(H22年)	蘇州農業職業技術學院
趙麗媛	女	2011年(H23年)	蘇州市外事弁公室
張臻	女	2012年(H24年)	蘇州市高等職業技術學校
印亜瑜	女	2013年(H25年)	蘇州市太倉市外事弁公室
唐笑叶	女	2014年(H26年)	蘇州市第三中學
魏敏	男	2015年(H27年)	蘇州大學

【本年度の主な活動】

- 1) 蘇州市派遣中学生親善団(7/28-8/1) 交流支援(ホームステイ対面式など)
- 2) 金沢マラソンPR活動
- 3) 金沢市青年海外派遣プロジェクト(12/25-29)での交流支援
- 4) 特使短期養成講座(1/30-2/10)への人材の紹介

(2) ブラジルから団体旅行を誘致！

国際交流特使ジルベルト・サントスさん(金沢サポーターズクラブ「金沢友の会」会長)が、2015年8月ポルト・アレグレ市の日本祭りで金沢ブースを設置し、金沢のPRを行っていたところ、来場者の一人が金沢への旅行に関心を示し、後日、2016年1月に、旅行参加者を対象にサン

トスさんが金沢の魅力に関するプレゼンテーションを開催してくれました。

その結果、2016年4月9日、ブラジルから団体旅行客の金沢誘致が実現しました。ブラジルからの一行は、金沢の金沢公園、兼六園、金沢城、近江町市場、長町武家屋敷跡を巡りました。

(3) バッファロー桜祭りで金沢をPR!

国際交流特使マクナマラ・マディソンさんが、2016年5月1日にバッファロー市で開催された「桜祭り」にて、バッファロー金沢姉妹都市交流委員会と協力し、「桜祭り」の主催団体に呼びかけて、金沢ブースを出展するとともに、金箔体験コーナーを設営し、来場者に金沢の文化を紹介してくれました。



マクナマラ・マディソンさん



金沢ブース(金沢市が送付したパンフレットや工芸品を展示)

(4) 中国の大学のイベントで金沢をPR!

国際交流特使謝黎さんが、天津外国語大学日本学科によりかけ、日本語学科で開催された日本をPRするイベント「桜前線」(2016年5月7日~6月3日)の期間中3回、「金沢専用教室」が実現されました。

謝黎さんの知人である、金沢を訪問したことがある教授が、金沢市から送付したパンフレット等を利用して、参加学生に金沢の観光名所と文化財について説明して下さったほか、金箔貼り体験コンテストも開催し、うまく貼れた学生4名が表彰されました。

謝黎さん



謝黎さんが金沢で撮影した写真を使用して作成された看板

(5) ブラジルの金沢サポーターズクラブが、金沢をPR!

2016年8月20日、21日の日程で、ブラジルのポルト・アレグレ市で日本祭りが開催されました。その際、ポルト・アレグレ市にある「金沢友の会」(国際交流特使らが中心

になって活動)が、昨年引き続き金沢コーナーをもうけ、金沢をPRしました。昨年展示した「ことじ灯籠」や工芸品・ポスター等に加え、今回は、金箔貼り体験コーナーをもうけ、来場者に金箔貼りによるハガキ作りを体験してもらいました。



(左) サントスさん
〔金沢友の会〕会長兼、国際交流特使



(左) ペアトリスさん
〔金沢友の会〕事務局員兼、国際交流特使



(右) カリーネさん
〔金沢友の会〕会計兼、国際交流特使

(6) ロシアの国際交流特使が金沢へ団体旅行誘致!

国際交流特使ガラエヴァ・ディナラさんが、2015年9月、ロシアの日本語学校にて金沢のPRを行ったところ、聴講者が金沢への旅行に関心を示しました。そこで、ディナラさんが金沢への団体研修旅行を企画し、2016年10月、ロシアからの団体研修旅行客の金沢誘致が実現しました。ディナラさんの意見を取り入れて、国際交流特使による活動の一環として、金沢の歴史や文化を学ぶプログラムを、下記のとおり実施しました。



体験プログラム：お茶のお手前を習っている様子

10月25日

①テーマ【文化～伝統と現代～】

金箔貼り体験、金沢21世紀美術館視察

テーマ【歴史】

兼六園、金沢城公園

10月26日

②テーマ【武士の生活】長町武家屋敷跡、鈴木大拙館で禅の世界を体験、お茶体験

(7) バッファロー「文化の日」イベントで金沢をPR!

国際交流特使マクナマラ・マディソンさんが、5月のイベントに引き続き、バッファロー金沢姉妹都市委員会と協力し、主催団体に呼びかけて、2016年11月6日、「文化

の日」日本紹介イベントで、来場者に金沢の文化を紹介してくれました。



金箔体験の様子(中央がマディソンさん)

(8) ベルギー・ブラジル・フランスの国際交流特使が在外公館で金沢をPR!

	<ベルギー> 在ベルギー 日本国大使館	<ブラジル> 在ポルト・アレグレ 領事事務所	<フランス> 在ストラスブール 日本国総領事館
日時	12月1日(木) 18:00～20:00	12月1日(木) 19:30～21:30	12月14日(水) 18:30～20:30
場所	駐ベルギー大使公邸	ポルト・アレグレ 市内の民間施設	駐ストラスブール 総領事公邸
出席者	政財官要人、各国大使館関係者、報道関係者等 (約340名)	政財官要人、日系団体、各国総領事館関係者、報道関係者等 (約130名)	政財官要人、報道関係者等 (約200名)
国際交流特使(派遣者)	【元留学生】 ヨナタン・フリードマンさん、マティアス・ブレネンさん	【元国際交流員】 ジルベルト・サントスさん 【元研修旅行生】 ヴィニシウス・ベルトルドさん カリーネ・アルンホルトさん	【元留学生】 オレリー・アユブさん
内容	展示: ポスター、パンフ、漆・金箔工芸品等 味覚:地酒、和菓子 体験:金箔体験	展示: ポスター、パンフ、漆・金箔工芸品等 体験:金箔体験	展示: ポスター、パンフ、加賀八幡起き上がり 味覚:地酒、和菓子 体験:金箔体験



○【ベルギー】12月1日(木)
在ベルギー日本国大使館



○【ブラジル】12月1日(木)
在ポルトアレグレ領事事務所



○【フランス】12月14日(水)
在ストラスブール日本国総領事館

(9) 中国の国際交流特使が52カ国の駐日外交団らに金沢をPR!

2017年2月13日、東京で開催された「平成28年度第2回地域の魅力発信セミナー」において、駐日外交団(在日公館52公館68名、在日海外商工会議所5カ所7名、企業等30団体38名)に対し、中国の国際交流特使である徐文輝さんが、留学生としての立場から、自然環境、歴史や伝統、文化、食など、金沢の魅力について語りました。



金沢の魅力をPRする徐文輝さん

姉妹都市から短期研修生を受入

本市では、昨年度より、海外での金沢の認知度向上を目指す金沢市国際交流特使養成事業の一環として、海外に在住する特使が推薦した日本語及び金沢の文化に興味のある海外の若者を対象に、約2週間の短期滞在・体験交流型の研修プログラムを実施していますが、今年度は、2017年1月30日から2月11日の期間、ポルト・アレグレ市から1名（モレイラ・ガブリエルさん）、蘇州市から2名（駱華さん・鄭瑩さん）の研修大学生を受け入れました。

プログラムでは、金沢の歴史や文化、工芸等に関する講座、各種文化体験、文化施設や史跡、まちなみ等の実地見学などを通して、「特使」になるために必要な金沢に関する知識を習得していただきました。また、

金沢国際交流財団とも連携して、登録ボランティアを活用した3泊のホームステイや体験講座など、市民との直接交流の場も取り入れ、金沢をまるごと体験できる機会を提供しました。

3人の研修生は、研修終了日に金沢市長より金沢市国際交流特使に任命され、帰国後、自身のSNSや現地・大学でのイベント等で、今回体験した金沢の魅力を広く発信していただくこととなります。蘇州市の研修生は、早速、滞在中からリアルタイムで、自身の経験をSNSで発信してくれていました。また、駱華さんは、3月16日に、蘇州科技大学で1年生74名の前で、金沢についてプレゼンテーションをしてPRしてくれました。



ボランティア講師による水引体験（金沢国際交流財団にて）



学生との交流（金沢大学にて）



三味線体験



呈茶体験（「野村家」にて）



能面装着体験



研修成果の発表

石川中央都市圏・国際交流連絡会が発足！ ～4市2町が国際交流連携の取り組みを開始～

金沢市は、石川中央都市圏（金沢市、白山市、かほく市、野々市市、津幡町、内灘町）における連携中枢都市圏を形成し、4市2町の連携によって「石川中央都市圏ビジョン」を推進しています。人口減少・少子高齢社会にあっても、地域を活性化させて経済を持続可能なものとし、安心して快適な暮らしを営んでいけるようにするため、「経済成長のけん引」、「高次都市機能の集積・強化」及び「生活関連機能サービスの向上」を行うことが目的です。

この枠組みにおいて、2016年5月20日、4市2町の国際交流所管課が、情報交換や課題の共有等を行うことで連携を強化し、地域の国際交流の推進を図ることなどを目的とする国際交流連絡会を設置しました。

5月に連絡会を設置した後は、8月、11月、2月に連携を推進するための会合を実施したほか、「かなざわ国際交流まつり2016」にあわせ、石川県政記念のき迎賓館において、6月19日～26日の期間で4市2町の国際交流に関する取り組みを紹介するパネル展も開催しました。



設置会議の様子（於：金沢市）



国際交流パネル展の様子

【新】キッズまちなか姉妹都市探訪事業を実施！

2016年度新事業として、市内の小学6年生を対象に、姉妹都市への理解を深め、外国人と交流することで国際的な感覚を持つ人材の育成を目的に「キッズまちなか姉妹都市探訪事業」を立ち上げました。本事業では、国際交流員や外国人ボランティアが、姉妹都市の雰囲気を醸し出す「姉妹都市公園」内の各姉妹都市コーナーで、各都市について、遊びを取り入れながら紹介しました。

〔実績〕

- 7/7 扇台小学校、11/4 富樫小学校、11/11 三谷小学校、
11/25 四十万小学校、12/2 泉小学校



全州市コーナーでの文化紹介(7/7)



蘇州市コーナーでの文化紹介(11/11)

グローバル人材育成ふれあい講座を実施！

市立保育所の子どもたちが、外国人や外国の文化とふれあう機会を通じて、グローバル人材に必要な国際感覚を養うことを目的に、国際交流員が講師役を務める講座を行いました。外国の絵本や遊戯、また地球儀や国旗など、子どもたちにとって目新しい様々な教材を用いながら、外国語でのあいさつ、絵本読み聞かせ、外国の遊戯・料理、簡単な国紹介などを行いました。

〔実績〕

- 10/26 金石保育所、12/14 八日市保育所、1/19 三馬保育所、
2/16 宮野保育所、3/6 金石保育所



金石保育所での講座(ハロウィン)の様子



三馬保育所での講座(水餃子)の様子

7ヶ国語で魅力ある金沢情報を発信！

世界に向けて、金沢情報の発信を強化するため、国際交流員5名、金沢市の台湾誘客コーディネーターを務める「J&Tコンテンツ」、今年10月の市長トップセールス時に協力をいただいたイタリアの「HLS.ローマ」による海外向け情報発信チーム「虹の会」を12月に結成し、本市の多言語facebookページの運用を3月に開始しました。今後は、英語・スペイン語・フランス語・イタリア語・中国語(繁体字)・中国語(簡体字)・韓国語の計7言語で、金沢の魅力発信に努め、知名度向上と誘客促進につなげます。

【体験・発信内容】

- 12/10 金沢の食文化体験ツアー(第5回講座:p5記事)
12/21 金沢市消防局救命講習

- 1/8 金沢市消防出初式
1/9 金沢の伝統芸能を知る! 能楽ツアー(第6回講座:p5記事)
1/28 金沢里山体感ウィンターツアー(第7回講座:p5記事)
1/29 氷室の仕込み
2/23 はじめての香道(第8回講座:p5記事)
2/24 回転寿司コンベア機視察
3/11 長町武家屋敷こも外し
3/24 オーダーシャツ専門店視察



国際交流員による体験研修

国際交流員が、翻訳や語学講座等の通常業務や、保育所や小中学生から高齢者まで、幅広い年齢層の市民への対応に役立てることを目的に、職場研修の一環として、様々な現場において生の声を直接見聞きする体験研修を実施しました。

【研修内容】

- 10/25~11/8 観光案内(於:金沢駅観光案内所・金沢城石川門案内所)
12/21 救命講習(於:金沢市消防局)
1/20 こどもの健全育成研修(於:金沢市教育プラザ富樫)
2/24 金沢市企業局末浄水場視察
3/14 東部共同調理場視察



国際交流員による語学研修

外国人観光客が増加する中、安全・安心なまちづくりを推進する一環として、消防局職員の外国人への対応能力向上を図ることを目的として、消防実務外国語研修等を開催しました。

英会話研修

- 9/20・21、12/20・21、1/25・26、3/15・16

フランス語会話研修 10/26

コミュニケーション能力向上研修 3/23

多言語電話通訳サービスの拡大

本市では、2015年5月より、外国人住民と市職員との窓口でのコミュニケーション支援として、多言語電話通訳サービスを導入しています。2016年5月からは、従来の英語・スペイン語・ポルトガル語・中国語・韓国語に加え、タイ語の通訳サービスも可能となりました。また、通訳サービス導入窓口も、2016年5月から、従来の19窓口から26窓口を増やし、外国人対応サービスの向上に努めています。



ロールプレイによる英会話研修の様子

- 【導入窓口】市役所内窓口(7)、市民センター(14)、福祉健康センター(3)、市立病院窓口(1)、保育所(1)



バッファロー [アメリカ合衆国]



表敬訪問時の記念撮影

提携 1962年(昭和37年) **人口** 26万人

面積 105km²

五大湖のひとつ、エリー湖の東にあり、ニューヨーク州西部の政治、経済、教育、文化の中心地。製鉄・製粉などの工業都市として発展した。市内には、オルブライト・ノックス美術館、州立大学バッファロー校や広大なデラウェア公園があるほか、著名な建築家フランク・ロイド・ライト設計の建物が現存するなど、文化と学術のまちでもある。有名なナイアガラの滝は、北西 25km の所にある。

ハンブルグ高校ジャズバンド 3度目の来沢

2016年11月19日から25日までの間、ハンブルグ高校ジャズバンド団24名(団長1名、引率2名、団員21名)が来沢しました。

姉妹都市バッファロー市近郊で、同じエリー郡内にあるハンブルグ高校ジャズバンドとの交流は、平成17年に両市の姉妹都市交流事業の一環として本市に受け入れたことから始まり、翌年にはJAZZ-21をバッファロー市へ派遣し、同高校との交流を深めました。その後も同高校とJAZZ-21は相互交流を続け、音楽をとおして市民との交流の輪を広げており、今回は2010年以来、3度目の来沢となりました。

滞在中は、ホームステイをしながら、ひがし茶屋街や兼六園、金沢21世紀美術館等の市内視察、呈茶や着物の着付けを体験しました。初めて日本・金沢の文化に触れることができ、とても貴重な体験になったようです。

小立野小学校にも訪問し、全校生徒を前に演奏を披露しました。



着付体験の様子

はじめてジャズに触れる生徒も多く、ジャズバンド団の演奏に聞き入っていました。そしてお礼に全校生徒から合唱が送られました。演奏



小立野小学校での交流コンサート

後は各教室にわかれ、給食を食べながら、交流しました。別れ際には、涙を流す生徒もあり、大変有意義な時間となりました。

そして、今回のメインイベントのひとつJAZZ-21との交流ジャズコンサートが金沢市民芸術村で開かれました。会場に集まった多くの観客を目の前にして緊張していた団員も、本番が始まると一体感に満ちた迫力ある演奏を披露し、観客からは温かい拍手が送られました。



交流ジャズコンサート

以下に主な日程を記載します。

- 11/19 来沢、11/20 市内視察、文化体験等、
- 11/21 市長表敬、市内視察等
- 11/22 小立野小学校訪問、ホームステイ等、
- 11/23 コン서트等、11/24 金沢大学訪問、文化体験、
- 11/25 帰国

バレエ留学中の富田夕葉さんが市役所へ近況報告

市内の中山芽バレエスタジオに所属していた富田夕葉さんが、バッファロー市内の高校を卒業し、名門バレエスクールとして世界的に有名なアメリカ・シカゴのジョフリー・アカデミに研修生として入学、今後もバレエ留学を続けます。バッファローとの姉妹都市交流の一環として来沢経験のあるバッファローのネグリア・セルジオ氏との縁が始まりで留学し、2016年8月には、夏休みを利用して一



市長表敬訪問

時帰国した富田さんが市役所を訪れ、近況報告を行いました。今後のますますのご活躍を祈念しています。

ポルト・アレグレ 【ブラジル連邦共和国】



完成したことじ灯籠とポルト・アレグレ市出身学生

提 携 1967年（昭和42年） **人 口** 141万人

面 積 497km²

ブラジル南部最大の都市で、リオ・グランデ・ド・スル州の州都。豊かな農牧地帯とリオ・デ・ジャネイロに並ぶ良港を持ち、米、ワイン、たばこ、畜産物などの生産のほか、木材、毛織物、金属等の工業も盛ん。四季ははっきりしており、グウィーバ川沿いに広がる市街は、美しいパトス湖や街路樹に彩られる。まちの入口では、この地のシンボルのガウーショ（カウボーイ）の像が訪れる人々を出迎えている。

ポルト・アレグレ市からの来客

金沢友の会が昨年のポルト・アレグレ市の日本祭りでも金沢ブースを設置し、金沢PRを行っていたところ、ポルト・アレグレ市在住のアドリアノ・カマルゴ夫妻が金沢に関心を持ち、12月1日から3日まで、来沢し、滞在中は、両市の姉妹都市提携50周年記念として贈呈予定のことじ灯籠の製作現場や姉妹都市公園などを視察しました。

在ポルトアレグレ領事事務所長の来沢

在ポルトアレグレ領事事務所の近藤猛所長が11月10日に本市を訪れ、姉妹都市提携50周年を迎えるポルト・アレグレ市との交流事業について山野市長と懇談しました。近藤所長は、2017年8月19日、20日に開催予定の第6回日本祭りのメインテーマに両市の50周年が掲げられる予定であることを説明し、日本祭り実行委員長からの親書を市長に手交するとともに、交流の側面的な支援を約束しました。



領事事務所長表敬

金沢市出身高校生がポルト・アレグレ市を訪問

リオ・グランデ・ド・スル州に留学中（2016年8月～2017年7月）の北村佳のん（金沢市出身高校生）さん

が、ポルト・アレグレ市を訪れ、1月8日には、金沢友の会のジルベルト・サントス会長が市内を案内したほか、翌9日には会長同行のもと、ポルト・アレグレ市役所の国際関係課を訪ねました。国際関係課との懇談のなかで北村さんは、両市の50周年事業への協力について意欲を見せ、ポルト・アレグレ市側もその申し出を快く受け入れました。今後のご活躍を期待しています！

提携50周年記念贈呈・ことじ灯籠を初お披露目！

提携50周年を記念して本市よりことじ灯籠を贈呈することになり、今年度、金沢職人大学校石工科の curriculam の一環として、ことじ灯籠の製作を進めてきました。2月7日には製作が完了し、ポルト・アレグレ市出身学生2名が見守るなか、初めて仮組み作業が行われました。

ポルト・アレグレ市出身学生の活躍

2016年10月から金沢大学に留学中のギリエルメ・カストロさんが本市の国際交流事業に協力してくれています。11月にはキッズまちなか姉妹都市探訪事業（p9記事）での講師、12月にはポルト・アレグレ市民来沢時の通訳対応（同頁記事）をされたほか、2月には完成したことじ灯籠を見学（同頁記事）、さらに同月からは市職員の語学力向上のためポルトガル語研修の講師を務めました。今後のさらなるご活躍を期待しています！

Topics

ポルト・アレグレ市新市長就任
2016年10月に行われた市長選の結果、ネルソン・マルセザン・ジュニオル氏が当選し、1月に市長に就任しました。



イルクーツク 【ロシア連邦】



表敬訪問後の記念撮影（イルクーツク中学生親善団）

提携 1967年（昭和42年） **人口** 62万人

面積 277km²

バイカル湖(世界遺産)の西方にあり、東シベリアの政治、経済、教育、文化の中心地。イルクーツク州の州都。天然資源が豊かで、機械、木材、食品などの工業が発達している。アンガラ川沿いに広がる市街は、美しく落ち着いた雰囲気から「シベリアのパリ」とも呼ばれる。市内には、イルクーツク大学をはじめとした学術施設、先端技術の研究所や工場などが数多くあるほか、市民の文化・芸術活動も盛ん。

ようこそ！中学生親善団の皆さん！！

2016年9月8日から14日まで、コロチキナ・アントニナ市議会議員（学校校長）を団長とする中学生親善団19名（引率4名、生徒15名）が来沢しました。一行は、9日に、兼六園やひがし茶屋街などの市内視察や着付け体験などを行い、金沢について知るとともに、10日から11日に行った一泊二日のホームステイでは、ホスト家庭の一員として、日本の生活を体験しました。交流会では、前年にイルクーツク市を訪問した金沢市中学生親善団とのテーマソングなど、パフォーマンスの交換もありました。12日には、金沢市長へ表敬訪問を行い、金沢の印象、ホームステイの感想等について発言しました。13日には、西南部中学校を訪問し、リーダー会との意見交換、授業見学などを通じ、生徒らとの親睦を深めました。このように、滞在中のプログラムを通じて多くの方々と触れ合うとともに、市内視察や文化体験なども行い、たくさんの思い出を持ってイルクーツク市へ戻りました。



交流会の様子

山本広行在ハバロフスク日本国総領事が 金沢市長を表敬訪問！

2016年4月11日に、イルクーツク州を管轄する在ハバロフスク日本国総領事館の山本広行総領事が来沢し、金沢市長を表敬訪問しました。在ハバロフスク総領事館は、管轄地域内において、日本文化の紹介イベントなどを開催しており、イルクーツク市に設置されている日本情報センターは、金沢市とイルクーツク市が交流を実施する際に、種々の協力をしてくれています。両者は、懇談の中で、両市が、2017年に提携50周年を迎えることから、より一層の交流の発展に向け、互いに可能な協力を行うことで意見が一致しました。

これに関連して、9月17日に同館が日本政府観光局（JNTO）と共催で、ロシア連邦・ハバロフスク市の青年会館で開催した「まつり2016」に、金沢市の観光パンフレ

ットやポスターなどを送付、会場に本市の紹介コーナーを設置することで、ロシアにおける金沢の魅力発信に協力してもらいました。



懇談の様子

Topics

「石川県ロシア協会」イ市訪問、イ市中学生親善団協力、交流写真展開催、日ロフォーラム開催

石川県ロシア協会は4月5日～9日にかけてイルクーツク州を訪問、その際に金沢市長からの親書をイ市長へ手交してもらいました。同協会金沢支部（金沢市ロシア協会）は、9月10日、本市が受入れたイ市中学生親善団の団長をはじめとする引率者（4名）に対し、野田山の「ロシア人墓地」を紹介するとともに交流を行いました。同協会が毎年設定している日ロ友好親善月間「フェスタ・バイカル」の枠組みで、10月8日から19日にかけて、金沢国際交流財団において、交流写真展を開催するとともに、10月14日から15日には、金沢市では22年ぶりとなる「第12回日ロフォーラム」を、内外から131名が参加を得て開催し、開会式において、金沢市長の歓迎メッセージが披露されています。

「交流サポーター」活動

金沢市の青少年交流事業で、2002年以降、イルクーツク市へ派遣された中学生親善団員OB等の有志で構成され、メンバー相互の親睦活動や国際交流事業のボランティアを行っている「交流サポーター」の本年度の主な活動は次のとおりです。

- 7月：中学生親善団ホームステイ説明会実施（4名）
- 7月：同窓会・姉妹都市からの研修生らとの交流（23名）
- 8月：日本に居ながら海外を感じる企画・領事館懇談訪問（10名）
- 9月：中学生親善団受入（ホームステイ・交流会・受入支援）（20名）
- 3月：同窓会活動（12名）

その他、国際交流員講座参加、国際関係講演会参加など、様々な活動に積極的に参加・協力しています。



総領事館で説明を聞く様子（8月）



市長表敬でのプレゼンター（最右：9月）

ゲント 【ベルギー王国】



ベルギー下院議長一行とJAZZ-21による記念撮影

提携 1971年(昭和46年) **人口** 25万人
面積 158km²

フランダース地方の中心都市で、今も中世の面影を色濃く残す芸術・文化のまち。別名「花の都市」とも呼ばれ、花の博覧会「ゲント・フローラリア」は世界的にも有名。ゲント港はヨーロッパ屈指の内陸港で、繊維、鉄鉱などの産業が発達した。聖バーフ大聖堂や1817年創立のゲント大学のほか多くの博物館や旧跡があり、中でも鐘楼やベギン会修道院などは世界遺産に指定されている。

ゲント・ブラスアンサンブルによる市長表敬訪問

「ラ・フォル・ジュルネ金沢2016」において、ゲントで音楽を学んだ団員を中心に構成されたゲント・ブラスアンサンブルO'Brassが、4月30日から5月6日まで、市内を中心に計10回の公演を行うにあたり、山野市長を表敬訪問しました。

ベルギービールウィークエンド初開催！

食や音楽などベルギー文化を体感できるイベントである「ベルギービールウィークエンド金沢2016」(会場：いしかわ四高記念公園)が、5月25日から29日まで、本市では初めて開催されました。これにあわせて本市では会場において、提携45周年を迎えるゲント市やベルギーとの交流について紹介するブースを出展しました。開催に合わせて着任後、初めて来沢された在日ベルギー大使館のギュンテル・スレーワーゲン大使夫妻もブースを見学され、5月25日には、山野市長を表敬訪問した後、オープニングセレモニーに山野市長とともに参加しました。



出展されたブースを見学する駐日ベルギー大使夫妻

日本・ベルギー協会一行が金沢の魅力を満喫！

5月28日、日本・ベルギー協会が、2012年以來4年ぶりとなる本市へのバスツアーを実施しました。当日は、日本・ベルギー協会会員ら48名が、本市の用意した金沢の「技」をまるごと体感できるプログラムを満喫しました。一行は、金沢市役所において細田副市長から歓迎挨拶を受けた後、能楽講義・和楽器体験を行ったほか、金沢市民芸術村においては、ベルギーとの交流実績のあるJAZZ-21の演奏を聞きました。また学生のみち市民交流館では、金箔、加賀蒔絵、加賀象嵌など5種類の工芸体験メニューを選んで体験しました。



金箔貼りを体験するベルギー大使夫妻

「日本・ベルギー国際交流美術展in金沢」開催

日本とベルギーの美術作家32名が作品を出展する「日本・ベルギー国際交流美術展in金沢」(主催：北陸ベルギー友好協会)が、9月28日から10月9日までの期間、金沢21世紀美術館で開催されました。美術展の開催に合わせて、ゲント市から来沢したゲント市議会のブルーノ・マティス議員を団長

とする訪問団8名が山野市長を表敬訪問しました。訪問団のうち、コリン・ウェッヒさんは帰国後、1月に再度来沢し2ヶ月間、市内の町家に滞在しながら作品を制作しました。

ゲント市アーティストによる市内での滞在制作

ゲント市在住のアーティスト、サラ・ウェストファルさんが、本市でのアーティスト・イン・レジデンスのため来沢し、10月25日から12月22日まで、市内の町家で生活しながら、市指定保存建築物「旧田上家」などで撮影を行い、それらをモチーフに制作した映像作品を制作しました。

ベルギー下院議長一行が金沢を訪問

衆議院の招聘事業として来日したベルギーのシヒュフリート・ブラッケット下院議長を団長とする議員団7名は、ギュンテル・スレーワーゲン大使をはじめとする在日ベルギー大使館員とともに、3月1日から2日まで、本市を訪問し、兼六園や21世紀美術館などを視察しました。山野市長を表敬訪問した際には、ゲントへ派遣されていたパティシエがゲントで学んだ成果を生かした洋菓子を提供したほか、市民芸術村では、JAZZ-21が演奏を披露し、一行を歓迎しました。これに先立って、1月23日には、在日ベルギー大使館のイェルン・ヴェルゲイレン公使参事官が着任後、初めて来沢し山野市長を表敬訪問しており、懇談の中で公使参事官は、本市とゲント市及びベルギーとの交流に対する感謝の意を伝えるとともに、ベルギー下院議長一行の来沢の下見も兼ねての訪問であることを説明し協力を求めています。

Topics

ベルギー国際交流員がベルギー国王夫妻の同行通訳

ベルギー出身のヴァンホーレンバーク国際交流員が、10月11日から14日に来日したベルギーのフィリップ国王夫妻に通訳として同行しました。在日ベルギー大使館から本市への派遣依頼があったもので、国王夫妻は両国の外交関係樹立150周年に合わせて国賓として招かれ、天皇、皇后両陛下との会見や安倍首相夫妻との懇談などを行いました。

派遣パティシエによるベルギー研修報告会を実施

石川県洋菓子協会は、若手パティシエの技術向上のため、金野(旧姓：池端)未香さんと中島未貴さんをゲント市内の洋菓子店「ヨースト・アレイス」及び「ダム」に派遣していましたが、2人が派遣期間を満了して帰国したため、1月24日、協会員を対象に、派遣パティシエによるベルギー研修報告会を開催しました。

ナンシー【フランス共和国】



ナンシー市のエナール市長と懇談する山野市長

提携 1973年（昭和48年） **人口** 10万人
面積 15km²

フランス東部の中心都市で、12世紀中頃からロレーヌ公国の都として栄えた。機械、織物、クリスタルガラスなどの産業が発達しており、20世紀初頭の芸術運動アール・ヌーボー発祥の地としても有名。総合大学等があり、人口に占める学生の割合が高い学園都市であると同時に、国際的な音楽祭や国立バレエ団がある芸術都市として発展している。スタニスラス広場などが世界遺産に指定されている。

金沢市代表団 ナンシー市訪問

2016年10月16日、山野市長を団長とする代表団がナンシー市を訪問しました。

ナンシー市では、ロラン・エナール市長の表敬訪問のほか、ジャン＝ミッシェル・ベールモン助役及び交換留学生と懇談しました。また、金沢市代表団の訪問に合わせ、金沢日仏協会とロレーヌ・ナンシー日仏協会による交流会が行われ、ナンシー市民に対して、茶会、浴衣着付け体験など日本文化を紹介しました。

ナンシー市長 来沢

2016年10月24日から26日まで、ナンシー市のエナール市長を団長とする代表団が来沢しました。



市民交流会の様子

滞在中は、山野市長をはじめ、両副市長と懇談したほか、金沢美術工芸大学、金沢市立病院、金沢大学など両市の交流に縁のある施設を精力的に訪問し、今後の新たな交流に向け具体的に協議したほか、両市の観光について意見交換などが行われました。

また、市民との交流会が行われたほか、金沢21世紀美術館、兼六園、近江町市場などを視察しました。

交換留学生の受入・派遣

金沢市から昨年派遣された猿橋舞子さん（金沢美術工芸大学）が、1年間の留学生生活を終えて帰国しました。また、26人目の留学生として、高井六花さん（金沢美術工芸大学）が派遣され、2016年10月よりナンシー国立高等美術学校で学んでいます。

さらに、ナンシー市からの26人目の留学生、エミリ

アン・ボネさん（ナンシー国立高等美術学校）が金沢美術工芸大学での留学生生活を始めました。

インターン生の受入・派遣

ナンシー市でのインターンのため、白井宏典さんと小林央依さん（ともに金沢大学）が金沢市から派遣されました。インターンは8月1日から8月26日の期間で行われ、2名はナンシー市の市民課や植物公園などで就業体験を行いました。

また、金沢市では、ナンシー市からのインターン生であるベッケル・アナイスさんとメッス・ロイックさん（ともにロレーヌ大学）を同日程で受け入れ、2名は金沢卯辰山工芸工房や玉川こども図書館、保育所、金沢美術工芸大学などで就業体験を行いました。



金沢美大生と作品を制作

Topics

第5回日仏自治体交流会議 参加

2016年10月4日から6日まで、フランス・トゥール市にて第5回日仏自治体交流会議が開催されました。金沢市からは細田大造副市長を団長とする代表団が参加し、「文化/革新」をテーマとした分科会を発表を行い、今後の日仏交流における提案が行われるなど、活発な議論が繰り広げられました。細田副市長一行は続いて、在フランス日本大使館やナンシー市役所などを訪問し、今後の新たな交流に向け、意見交換を行いました。

金沢市立病院が研修医を受入

7月4日から8月12日の日程で、金沢市立病院が地域圏立ナンシー大学病院から研修医2名を初めて受け入れ、1か月間の研修を行いました。



蘇州【中華人民共和国】



市庁舎前デジタルサイネージで蘇州図書館訪問団を歓迎

提携 1981年(昭和56年) **人口** 661万人

面積 8,488km²

約2,500年前の「呉」の国の都として築かれた古都。温和な気候と美しい自然に恵まれ、古くから景勝の地として知られる。美しい庭園と寒山寺などの名所旧跡が数多く、拙政園や留園など9カ所もの庭園が世界遺産に指定されている。シルク刺繍などの特産品や食の地としても有名であるが、近年は、シルクなどの特産品のほか、近郊に日本企業を含む多くの外国企業が進出しめざましい経済発展を遂げ、その経済力は北京・上海・広州・深圳に次ぐ第5位にランクインするとされている。2014年12月、本市と同じクラフト分野でユネスコ創造都市ネットワークに加盟。

『蘇州創造博覧会』に職員を派遣

蘇州市で開催された『第5回蘇州創造博覧会』に参加のため、2016年4月21日から25日の日程で、松矢憲泰・金沢市交流戦略推進室長(兼)国際交流課課長補佐ほか職員1名を、蘇州市に派遣しました。

訪問の目的は、姉妹都市の枠組みを通じた蘇州市のユネスコ創造都市担当部署(文化広報新聞出版局)や国際交流担当部署(外事弁公室)との実務交流を深めるためのもので、併せて、6月に実施した提携35周年を記念した金沢市代表団の蘇州市訪問に先立つ事前打ち合わせや、会場・視察予定先の下調べ等、必要な事前準備を蘇州市側と綿密に行いました。

思い出の夏休み!

第6回金沢市中学生親善団を蘇州市に派遣

2016年7月28日から8月1日の日程で、浅川明弘・金沢市土木局長を団長とする中学生親善団14名(うち中学生9名)が蘇州市を訪問しました。

中学生団員は、蘇州市田家炳実験初級中学校の生徒の家庭にホームステイをして、初めて体験する中国の家庭生活・ホストファミリーとの交流を楽しみました。また一行が田家炳実験初級中学校を訪問した際には、刺繍・水墨画



現地学校訪問・交流会で、研修で練習した歌を披露する中学生団員

扇絵・古箏などを教える伝統文化授業体験を行いました。交流会では、英語で金沢の文化紹介をし、日本の伝統的な遊びを紹介したり、日中両国の歌を披露するなど、同校の生徒との交流を深めました。

両市図書館交流の深化に向けて ～蘇州図書館訪問団の来沢

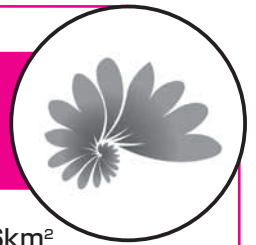
2017年1月16日から17日の日程で、金沢海みらい図書館と姉妹館の提携を結んでいる蘇州図書館からの訪問団(団長:金徳政・蘇州図書館副館長(館長事務取扱)以下5名)が来沢しました。

一行は、2019年に開館を予定する蘇州第2図書館の建設にあたっての参考とするため、金沢の市立図書館の視察を目的に訪れたもので、金沢海みらい図書館で自動化書庫のデモンストレーションを含む館内の案内と説明を受けた後、山野市長を表敬訪問しました。翌日には、玉川こども図書館で、金沢市立図書館の児童サービスや弱者サービスを含む図書館行政の説明を受け、今後の交流拡大に向けた意見交換会を行い、玉川・泉野の両図書館を訪問しました。



金沢海みらい図書館を視察した訪問団

全州 (大韓民国)



金沢市長と全州市長（金沢市代表団全州市訪問）

提携 2002年（平成14年） 人口 65万人 面積 206km²

「後百済」の都として千年余りの歴史を持つ古都で、李氏朝鮮を開いた李成桂の本郷としても知られる。国指定宝物の豊南門（ブンナムムン）、韓屋村などの歴史遺産や韓紙（ハンジ）、韓（ハン）ソリなどの韓国伝統文化が創造的に継承されていることが高く評価されている。近年は、炭素繊維産業や「韓スタイル事業」を通して先端技術と伝統が調和する経済を追求するとともに、映画映像産業、生物生命産業なども育成し、21世紀新産業都市への変貌を図っている。

金沢市代表団が全州市を訪問

2016年7月1日、山野市長、前田昌彦・金沢美術工芸大学学長らから構成される金沢市代表団6名が、全州市を訪問しました。代表団は、まず全北大学を視察し、李南浩学長らと懇談しました。懇談の中で代表団は、金沢美術工芸大学の紹介も行いました。その後、宋河珍・全羅北道知事、金承洙・全州市長を表敬訪問し、交流を深めました。

「第15回全州韓紙作品展 in 金沢」を開催

2016年7月14日～7月19日にかけて、金沢海みらい図書館にて「第15回全州韓紙作品展in金沢」を開催し、全州市の韓紙工芸作家による伝統の韓紙工芸品が展示されました。

この展示会は、2002年の両市姉妹都市提携後、全州市の（社）韓紙文化振興院との間で毎年交互に双方の都市で、伝統工芸品を紹介しあうために開催されているもので、今回で15回目となりました。今回は、金沢で行われる韓紙作品展ではじめてワークショップが行われました。ワークショップでは、韓紙工芸作家が講師となり、市民が韓紙を使ったキーホルダーやボールペンづくりを楽しみました。



「全州韓紙作品展in金沢」開会式の様子

金沢市立工業高等学校の生徒が、全州工業高等学校を訪問

2016年4月29日～5月2日の日程で、金沢市立工業高等学校訪問団計10名（教諭3名、高校生7名）が、全州工業高等学

校を訪問しました。一行は、事前学習で学んだ韓国語で自己紹介をしたり、通訳アプリを駆使したりして、生徒同士、教員同士、全州工業高等学校との交流を楽しみました。訪問団は、全州工業高等学校の生徒・教員とともに韓屋村を訪れ、韓紙をつかった扇子作りのほか、韓服に着替えてまちなみ散歩をしました。訪問団の生徒は、「着付けがとにかく簡単で驚いた。歩きやすくて動きやすい。」と、着物と韓服の違いにびっくりしていました。また、訪問団は全州工業高等学校創立100周年記念式典にも参加し、記念式典では、金沢市立工業高等学校訪問団団長小酒正明校長が、姉妹校として今後も交流を続けていきたい旨、祝辞を述べました。

「全州ハンドメイドシティウィーク2017」で金沢市のクラフト政策をPR!

2017年2月20日～28日の日程で、全州市韓屋村工芸館や韓国伝統文化殿堂など全州市一帯で、「全州ハンドメイドシティウィーク2017」が開催されました。このイベントは、初めて開催されたもので、全州市や全州市の姉妹都市の工芸の取り組みについてPRするイベントです。本市も、このイベントにパネルや工芸品を出展し、クラフト創造都市としての金沢の取組を、全州市民にPRしました。

Topics

全州市議会代表団が金沢市を訪問

2016年6月3日～6月5日の日程で、金明志副議長を団長とする「全州市議会金沢市訪問団」一行17名が、2004年5月に友好交流協定を調印した両市議会での定期相互訪問事業の一環で金沢市を訪問しました。一行は滞在中、加賀友禅灯ろう流し、百万石行列、金沢湯涌創作の森等を視察し、金沢市議会との交流を深めました。

金沢市柔道協会が全州市で親善試合に参加

2016年9月23日～9月26日の日程で、金沢市柔道協会使節団計23名（役員・保護者・通訳等8名、小学生5名、中学生10名）が、全州市を訪問しました。滞在中、一行は、全州市立石高等学校との合同練習や全州市長旗柔道大会への参加など、柔道を通じた交流を楽しみました。

大連【中華人民共和国】



大連教育学院を訪問した金沢市長一行

提携 2006年（平成18年） **人口** 590万人
面積 12,574km²

遼東半島最南端に位置し、中国東北部を代表する港湾工業都市で貿易金融の中心都市。総延長 1,900 kmにおよぶ美しい海岸線と起伏に富んだ地形に恵まれ風光明媚で活力溢れたファッションとサッカーをイメージした観光戦略都市でもある。また、従来の船舶・鉄道車両などの工業基地に加え、郊外に位置する「大連金普新区」を中心に、3,300 社以上の日系企業が進出しており、先端技術の発展を目指した国際都市の建設に邁進している。

大連国際マラソン大会で金沢マラソンをPR!

2016年5月22日に大連市で開催された『第29回大連国際マラソン大会』に参加のため、5月20日から23日の日程で、吉田伸也・金沢市スポーツ部長を団長に、金沢マラソン2015で好成績を収めた2名の市民ランナー（男子2位の三輪真之選手・女子2位の安川沙弥香選手）を含む4名の金沢市選手団が、招待を受けて大連市を訪問しました。

世界31の国と地域から約21,200人が出走したマラソン大会では、アフリカからの招待選手が多数上位を占める中、三輪選手は男子13位、安川選手は女子10位の好成績を収めました。



爽やかな汗を流して金沢マラソンをPRした三輪・安川両選手

もので、勝敗を競うというより、参加各都市との選手間での市民交流に主眼が置かれたものでした。その中で金沢市チームは、女子団体戦で



大連市での市民卓球大会に参加した金沢市選手団

9チーム中第3位に、男子個人戦で長谷川龍選手が27名中第3位に入賞という好成績を残すなどの健闘をしました。

選手団は、この大会参加を通じて、互いの腕を競い合うと共に、他チームとの練習試合を笑顔で行うなど、大連市を含む参加各都市からの選手とのスポーツ交流の推進に寄与しました。

大連市での海外教育派遣研修を実施

2016年10月8日から12日の日程で、浦世史宏・金沢市教育委員会教育次長を団長に、市内小中学校の中堅教員等からなる「金沢市海外教育派遣研修団」一行6名が、大連市の教育事情を視察しました。

一行は、大連教育学院や大連大学、市内の小中学校や特別支援学校、現地に進出している金沢緑の日系企業を視察して、現地の教育事情等への理解を深めました。

なお、国際感覚豊かな人材育成を図ることを目的に金沢市教育委員会が実施しているこの大連市への教員派遣研修事業は、2004年度から毎年行われており、今回で13回目となりました。

ピンポン交流 大連市での市民卓球大会に金沢市選手団を派遣

2016年9月23日・24日の両日、大連市で初めて開催された『大連日中韓友好都市市民卓球交流大会』に参加のため、9月22日から26日の日程で、太村正信・金沢市立病院事務局長を団長に、金沢市卓球協会から参加の監督1・選手6名からなる8名の金沢市選手団が、大連市を訪問してピンポン交流に汗を流しました。

この卓球大会は、大連市の持つ日中韓3ヶ国の姉妹都市・友好交流都市からの選手団を招待して開催された

■国際交流員による国際理解講座

金沢市には、アメリカ、ベルギー、フランス、中国、韓国の5人の国際交流員が在籍しており、姉妹都市交流事業にかかる業務の他に、地域レベルの国際化に従事するため、市民向けに、姉妹都市や出身国の言語や料理、季節行事などの文化を紹介する講座を定期的に行っています。

- ・ 4月16日(土)
「アメリカのイースターを体験しよう」(参加児童16名)
- ・ 5月14日(土)
「ベルギー食文化紹介講座」(受講者19名)
- ・ 5月17日(火)
「美食の国『フランス』の食文化を学ぼう！」
(受講者20名)
- ・ 6月2日、9日、16日、23日(すべて木曜日)
「シニアのための初めて英会話」(受講者16名)
- ・ 7月12日(火)
「ワールドクッキング教室～アメリカの夏の定番BBQ料理～」
(受講者19名)
- ・ 10月4日(火)
「特別な日に食べる定番の韓国料理教室」(受講者19名)
- ・ 10月26日(水)
「飲もう・中国のお茶、知ろう・杭州の魅力」
(受講者22名)
- ・ 11月8日、15日、22日(すべて火曜日)
「話してみよう!はじめてのフランス語」(受講者15名)
- ・ 12月6日、13日、20日(すべて火曜日)
「旅を楽しもう!はじめてのフランス語」(受講者15名)
- ・ 2月5日(日)
「親子でフランスの「クレープ祭り」を楽しもう！」
(参加親子12組26名)
- ・ 2月22日(水)
「冬の定番!韓国屋台料理を味わおう」(受講者18名)



ベルギー食文化紹介講座



美食の国「フランス」の食文化を学ぼう!



特別な日に食べる定番の韓国料理教室



飲もう・中国のお茶、知ろう・杭州の魅力

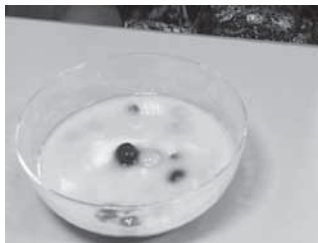
■体験型グローバルキッズ育成セミナー

金沢国際交流財団では、今年度初めて、小学3～6年生の子どもたち20名を対象に、国際感覚を持つグローバル人材の育成を目指した「体験型グローバルキッズ育成セミナー」を開催しました。講師には、金沢に暮らす外国人市民を迎え、英語を用いた体験プログラムと、世界の様々な文化に触れ、日本との共通点や相違点を話し合い、国際理解を深める内容の連続セミナーとして実施しました。

7月27日(水)

第1回「英語でクッキング」

タイ出身の合田ユイさんを講師に迎え、英語によるタイのお菓子「プアロイカイワーン」作りに挑戦しました。



8月10日(水)

第2回「英語であそぼう」

インドネシア出身のニーワヤンさんを講師に迎え、歌に合わせて体の部位を英語で楽しく学びました。



8月24日(水)

「英語でクラフト」

金沢市の姉妹都市フランスのナンシー市から金沢市にインターシップにやってきたアナイス・ベッケルさん、ロイック・メッスさんを講師に迎え、エッフェル塔が飛び出すカードづくりを英語で教えてもらいました。



国際交流ダイアリー

4～6月

- 4月4日 ナンシー・ロレーヌ仏日協会会長 来訪
- 4月11日 在ハバロフスク日本国総領事 来訪
- 4月21日 金沢市出身の青年海外協力隊員2名が帰国挨拶（派遣国カンボジア、フィリピン）
- 4月26日 ナンシー市助役 来訪
- 5月6日 金沢市副市長一行 台湾・台南市副市長、台南市副議長、嘉南農田水利会長を訪問
- 5月6日 金沢市副市長一行 「金沢・加賀美食工芸展」出席（台湾・台南市内）
- 5月7日 金沢市副市長一行 観光セミナー「金沢カフェ」出席（台湾・高雄市内）
- 5月8日 金沢市副市長一行 「八田技師夫妻墓前祭」に参列（台湾・台南市内）
- 5月19日 韓国大田広域市行政視察団 来訪
- 5月25日 駐日ベルギー大使 来訪
- 5月25日 駐日ハンガリー大使 来訪
- 5月25日 韓国 禮山郡守来訪
- 6月3日 韓国 禮山郡月進会訪問団 来訪（百万石まつり視察）
- 6月24日 金沢市出身の青年海外協力隊員1名が出発挨拶（派遣国ベナン）

7～9月

- 7月14日 大連東軟信息学院 日本語教師研修団 来訪
- 8月19日 台湾・台北駐大阪経済文化弁事処長 来訪
- 8月22日 金沢市出身の青年海外協力隊員1名が帰国挨拶（派遣国ニカラグア）
- 8月31日 日露青年交流センター短期招聘プログラム参加ファッション・服装デザイン交流グループ来訪
- 9月5日 中国北京・清華大学美術学院訪問団 来訪（金沢美術工芸大学訪問）
- 9月8日 台湾・台中市文化局長一行 来訪
- 9月15日 金沢市職員 スウェーデン・エステルズン都市ユネスコ創造都市市長ミーティング政策決定機関会議に参加
- 9月27日 ブラジル石川県人会長 来訪
- 9月30日 ロシア沿海州労働組合訪日団 来訪

10～12月

- 10月5日 金沢市副市長 フランス・トゥール市第5回日仏自治体交流会議 参加

- 10月16日 フランス・パリユネスコ本部創造都市展示会に金沢市が出展
- 10月17日 韓国自治体公務員研修行政視察団 来訪
- 10月17日 金沢市長 フランス水泳連盟と東京五輪事前合宿金沢誘致検討の覚書を締結
- 10月17日 金沢市長 フランス・アンギャンレバン市長を訪問
- 10月18日 金沢市長 フランス・パリユネスコ本部創造都市国際交流シンポジウムでプレゼンテーション
- 10月19日 金沢市長 イタリア・ミラノ「金沢学講座イン ミラノ」でプレゼンテーション
- 10月27日 金沢市出身の青年海外協力隊員3名が帰国挨拶（派遣国ボリビア、ガーナ、キルギス）
- 11月1日 金沢美術工芸大学学長 中国北京・清華大学美術学院創立60周年記念セミナー参加・講演会
- 11月4日 「第5回日韓中姉妹都市親善囲碁交流大会2016」参加蘇州市・金州市代表団 来訪
- 11月6日 中国北京・清華大学美術学院訪問団 来訪（金沢美術工芸大学開学70周年記念式典参加）
- 11月9日 金沢市卯辰山工芸工房陶芸専門員 研修出発挨拶（派遣都市中国・景德鎮市）
- 11月14日 蘇州市青年連合会訪問団 来訪
- 11月15日 蘇州市総工芸会業務考察訪日団 来訪
- 12月1日 駐大阪・神戸米国総領事 来訪
- 12月16日 金沢市出身の青年海外協力隊員1名が帰国挨拶（派遣国グアテマラ）

1～3月

- 1月8日 金沢市議会 台湾・台南市議会と友好交流協定を締結
- 1月11日 フランス水泳連盟 来訪
- 1月12日 大連大学 日本語教師研修団 来訪
- 1月16日 蘇州市図書館訪問団 来訪
- 1月23日 在日ベルギー大使館公使参事官 来訪
- 2月6日 大連東軟信息学院・大連工業大学 日本語教師研修団 来訪
- 3月1日 ベルギー王国下院議長一行 来訪
- 3月10日 駐名古屋中国総領事 来訪

国際交流員の一年

ディアロ・スピーアーズ（アメリカ）



Hello everyone!（皆さん、こんにちは！）

アメリカの国際交流員のディアロ・スピーアーズです。アメリカのニューオーリンズ市で生まれましたが、高校生の時、家族と一緒にボストン市へ引っ越したので、両市とも「出身」と呼んでいます。2016年8月より金沢市役所国際交流課で働くことになり、この仕事を通して金沢の魅力を知る機会に恵まれました。

3月に「多言語対応 金沢救急アプリ」を公開した後、金沢市消防局は、職員が市内に益々増えている外国人に英語で対応できることを目的として、消防実務英会話研修を開催し、私が講師を務めさせていただきました。

ました。講座の他、全日本綱引選手権大会で優勝した金沢レスキュー隊の訓練を見る機会もあり、消防士の制服を着させてもらったり、消防車に乗らせてもらったりもして、思い出に残る経験になりました。

11月には、金沢の姉妹都市であるバッファロー市のハンブルグ高校ジャズアンサンブルが、金沢市で活躍しているJazz-21と共に交流コンサートを演奏しに来沢しました。滞在中には、金沢を観光しながら、Jazz-21のメンバーとのホームステイをはじめ、有意義な交流ができ、両市の友好に更に深めました。私は初来日で活気が溢れている学生たちのサポートに取り組むことができて大変嬉しく感じました。2017年は金沢市とバッファロー市の姉妹都市55周年記念になりますので、これからも色々な交流をする行事がありますように祈っています。

ウェルナ・ヴァンホーレンベーク（ベルギー）



Dag iedereen!（皆さん、こんにちは！）ベルギー出身の国際交流員のヴァンホーレンベーク・ウェルナです。今年金沢に来て4年目になります。この4年間で姉妹都市、又、

私の母国のベルギーに関するイベントがたくさんありました。金沢市民と交流し、金沢の滞在を楽しく過ごしています。

2016年は金沢市とゲント市の姉妹都市45周年記念である上に、日本・ベルギー友好150周年に関するイベントが多く開催されました。去年始めて開催されたベルギービールウィークエンドは金沢市で開催されたイベントの中で一番大きかったです。2017年6月にもまた開催される予定です。

去年の10月にベルギー国王夫妻日本公式訪問は一番大きなイベントでした。これから金沢市とゲント市、又、ベルギーと日本の繋がりがどうやって深くなっていくことを楽しみにしています。

マチルダ・デュボワ（フランス）



Bonjour! フランスの国際交流員のマチルダ・デュボワです。3年目の勤務の半分が経っているところです。

今年も金沢の皆さまにフランスの文化、料理や言葉を身近に感じていただこうと、金沢国際交流財団を通して何回か講座をさせていただきました。参加者の方々はいつもフランスに大変興味を持ってくださる方々で、楽しく交流をし、大切なふれあいの時間になっているという風に思っています。

また、去年に引き続き、今年もフランスと金沢の交流が豊富な一年になりました。個人的に大きな出来事になったのは、フランス出張でした。ナンシー市との

姉妹都市関係の話し合いもありましたが、他に東京オリンピックに向けてフランスからの選手が金沢で合宿を行うための協議や日仏自治体交流会議の出席など、様々な枠で通訳をさせていただき、とても有意義な一年になりました。

最後になりましたが、10月に姉妹都市のナンシー市エナール市長が始めて金沢を訪れました。金沢の名所をめぐられたほか、金沢が取り組んでいる施策や姉妹都市の活動の将来について色々な場面でお話をされました。

来年2018年は姉妹都市提携を結んでから45周年になりますので、ナンシー市と金沢の間に生まれるイベントが楽しみです！

それでは、今年もよろしく願いいたします！ A bientôt!（また今度！）

ていぎょうてい ちゅうごく
丁曉婷 (中国)



大家好！（皆さん、こんにちは！）中国の国際交流員の丁曉婷です。2016年4月から金沢市役所国際交流課で仕事を始めさせていただきました、もうすぐ一年が経とうとしています。実は昨年（1月1日）に友達と偶々金沢へ遊びに来ました。その後、JETプログラムに合格し、金沢に配属されたことがわかった時、縁があるなあと思いました。

2016年は金沢市と蘇州市と姉妹都市提携35周年、大連市と友好交流都市提携10周年という記念すべき年でした。金沢に来てまもなく、5月に中国の大連市で行われる大連国際マラソン大会に派遣団の通訳として参加

イム ヘヨン かんこく
林慧娟 (韓国)



皆さん、アンニョンハセヨ！（こんにちは！）
昨年の4月より金沢市の国際交流員として働くことになりました、韓国出身の林慧娟と申します。去年の春に初めて金沢に来た時、緑豊かで木漏れ日がキラキラと射し込む落ち着いた町中の景観に私はとてもドキドキ、わくわくしました。日本での生活は大学生時代交換留学をしたこともあって初めてではなかったですが、新しい生活が繰り返られる場所が昔ながらの町並みを守られていながらも現代的でおしゃれな建物も沢山ある金沢ですので、実際に金沢についたときその趣のある街並みに感動し、これからの金沢ライフへの期待に膨らんだのです。

国際交流員として過ごした一年は沢山の経験と出会いに恵まれた一年でした。去年は韓国から多くの訪問団が来沢し議会の交流や工芸・スポーツ交流、取材などを行いました。長い間交流を続けている金沢市と全州市の方々の間で通訳を勤めた時は、コミュニケーシ

し、金沢マラソンのPRをしてきました。また6月に金沢市代表団の一員として、蘇州と大連へ訪問し、初めて正式な場面で市長の通訳をさせていただき、新しい経験ができ、大変勉強になりました。

そのほか、市内の小・中学校訪問、市民向け文化講座、ラジオ出演、パンフレットの翻訳など、幅広い仕事を通して、金沢の魅力に触れながら、今の中国を伝えることもでき、とてもうれしく思っています。プライベートでも富山、四国、草津温泉、軽井沢などへ旅行し、充実した日々を過ごしています。

2017年は蘇州と金沢、中国と日本の間の交流が一層進むことを期待しています。また金沢の魅力をどんどん発信していきたいと思います。今後とも宜しくお願いいたします。

ヨンが直接とれる共通の言語が無くても、お互いを尊重し合いながら長い間友情を育てている姿を間近で見ることができました。そして架け橋になって交流を手助けする国際交流員として、彼らの思いをもっと上手く伝えられるよう常に勉強に励みたいと思いました。

将来国際交流の担い手となる子供や学生を対象にした多文化理解講座などに出向いた時には、目を輝かせながら日本と違った海外の話に耳を傾け、他国への興味を持ち始める事をみて念入りに資料を準備した遣り甲斐も感じました。

今年の4月には金沢市を世界に発信していくフェイスブックページがオープンします。私が道を歩いている途中つい立ち止まって写真を撮りたくなっていた金沢市の四季折々の美景や多様な観光情報などをより多くの韓国の方々知ってもらえるよう発信していく予定です。また2017年は金沢市と全州市が姉妹都市提携を結んでから15年目となる節目の年です。昨年（金沢）生活で積んだ知識や経験を活かして、相互の交流がより有益なものになるように微力ながら力を尽くしたいと思います。

皆さん、今年もよろしくお願ひ致します！

こく さい こう りゅう いん かつ どう しゃ しん
《 国際交流員の活動写真 》



ハンブルグ高校ジャズアンサンブルに同行



ベルギー国王夫妻 日本公式訪問に同行



ナンシー市代表団の金沢市長表敬訪問



大連国際マラソン大会の派遣団と



子供を対象とする多文化理解講座



第43号 (2016年度・平成28年度)

2017年発行

金沢市姉妹都市交流委員会

事務局：金沢市都市政策局国際交流課

TEL 076-220-2075 FAX 076-220-2069